



ひと花新聞

第29号

平成27年12月1日
 発行 NPO法人釜ヶ崎支援機構
 ひと花センター
 〒557-0016
 大阪市西成区太子
 1-13-15
 電話 06-6649-7890

【ひと花句会・川柳会の句】

木枯して 落葉が踊る 街の角 善人

寒いじき

柚子風呂つかり つかれとり

連日の 変わらぬ冬の 水仕事

長安

クリスマス ジングルベルに せかされて

萩之茶屋から 覚醒剤を排除しよう!



萩之茶屋地域 覚醒剤撲滅キャンペーン

覚せい剤のなймаち

まちをきれいに

覚せい剤撲滅キャンペーン
 十一月七日(金)連日、西成警察協力の元、区長をはじめ八〇名ほどの参加者、千原岬出発、堺駅南へ太子交差点まで西へ、阪堺線ふみきり北へ、銀座通りセンター病院、西成市民館西成署、商店街と通り、一時四十分萩之茶屋駅前にて到着して、かいせん参加者の皆さん、こんろうさままでした。つぎも又参加よろしくお願ひいたします。



せんとうで 今年もおう 柚子かおり 水木 さむい夜は おでん湯豆腐 鍋恋し 貴和心

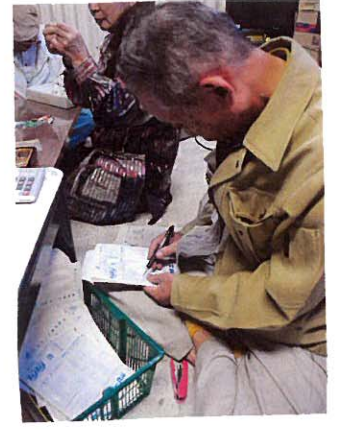
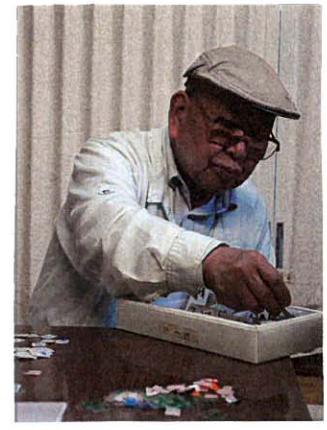
憂し日に 枯野にたたずみ ひとり泣く 貴和心

小雨降る イブの二人の ラブソング 長安

ひと花センターを地域にひろく日



内職日記
 ベルマークのしわけ作しまか
 かりました。
 6月から始まり11月まで
 5ヶ月間 コフコフがんばって
 しわけしました。
 さいらさん、ごさけい
 最終と多数の合計か
 ーを貰にもりました。
 ほんどかノスからあつ
 まく長まりました。
 ちりもつればやまとなる
 と云う言葉も実死
 しんないです。
 1月のお金ありがた
 まかしめとわかりました。
 とくほ



ひと花センター
 11月ひと花カフェ
 12月2日(日) 10時～14時
 先着50名様に花の苗をプレゼント
 どなたでも、お気軽にお越しください。

ひと花センターを地域にひろく日
 ひと花ゆめひろば
「クリスマス会」
 12月19日(土)
 10時～14時
 先着50名様に花の苗をプレゼント
 どなたでも、お気軽にお越しください。

【ひと花句会・川柳会の句】
 木枯して 落葉が踊る 街の角 善人
 寒いじき
 柚子風呂つかり つかれとり
 連日の 変わらぬ冬の 水仕事
 長安
 クリスマス ジングルベルに せかされて

水鳥の こころは天国 昆陽の池 池之辺 酔う程に 食べたし里の 芋煮会 赤鬼 道やがて 橙となりゆく

落葉かな

秋の空 すすしき風が 身にしみる

ターシー



京丹後市の茶飯月報...
 京丹後市では就労支援や居場所作りとして地域の資源である農作業を積極的に利用しています。
 京丹後市とは昨年より交流があり、寄って支援総合サポートセンターのご招待を受け、農業体験ツアーに行つてまいりました。

体験してきまた

京丹後市では就労支援や居場所作りとして地域の資源である農作業を積極的に利用しています。
 京丹後市とは昨年より交流があり、寄って支援総合サポートセンターのご招待を受け、農業体験ツアーに行つてまいりました。

普段口にするお米は脱穀、もみすりといったたくさんの作業を経ていることを実感しました。大変な作業も一緒に行えば現地の方もすぐに仲間になります。京丹後の皆様ありがとうございました。



「桃ヶ池」幻燈
 水色の池面に雪が舞い降り、
 赤や桃色の口紅を霞に
 渡橋の向うの池では蓮の葉が
 白蛇の化身の神々しい
 冷たい針雪のような細い粒が
 頬に刺さる。青蒼を思ふか
 唇の桃ヶ池をさるがごとく
 立ちゆめ。梅の香は赤く枯れている

11月の散歩 田辺・桃ヶ池周辺



湖国旅情(3)

カズ池田

改神タイカース好きの皆様
 今年もライマックススリムに
 参加できたのは残念で、お
 栗年こそは優勝しても
 わざと、いままでたつとも勝
 ませぬ。来年は金本新
 監造がハキくますか、
 金本さんのあのとうしを
 勝てるくらいと信じて
 ます。宜しく御願、致し
 ます。

湖国旅情(3) カズ池田
 左に八景山を見ながら九時三十分彦根城に到着。
 彦根城は護国大名の中では三万石と一巻石が長く、石高に
 かしら、格式有るが城で藩主大老、井伊直弼は幕府反対派を弾
 圧したため水戸、薩摩、浪士により江戸城梅田門外で暗殺さ
 ました(八六の宝政元年)。十時十五分彦根城を出発。
 十三時十分大橋に到着、彦根は姉川の戦いで有名で、小
 谷城も主将長政が元禄元年(一七〇七)朝敵義経に味方した
 の腹を立って信長、家康の軍と戦って敗れたので死者の血が川が
 赤に染まるといふ。長政は元禄四年(一七〇九)再信長に攻められ
 燃え城ととも自刃、信長の娘お市の方は妻と有り茶々(源君)
 初常(源)江の辺にも有ります。十四時五十分彦根城を
 離れ、彦根市(一五八三)豊臣秀吉が築いた、徳川家康の連
 合軍を破る戦場、破れた藩家は再始した彦根市、彦根市北
 彦の城、現在の彦根市で藩家と共に自刃。戦国時代話づく

食後には 大麻が良いと 小学生 貴和心 木枯らしに 秋の名残の 柿一つ 池之辺 菊人形 今年の顔は 五郎丸 善人 酔い病みて 夢に死神 日短か 赤鬼 仰ぎ見る 冬の三日月 海に消え 長安